



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただくことができます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

どんなおばねっ子になってほしいのか

唐突ですが「VUCAの時代」。耳にされたことがあるでしょうか。

OECD(経済協力開発機構)が、2030年を「予測困難(Volatility)で不確実(Uncertainty)、複雑(Complexity)で曖昧(Ambiguity)」な時代になる、と予測しました。この「VUCAの時代」をたくましく生き抜くために、どんな子供たちになってほしいか、議論されてきました。

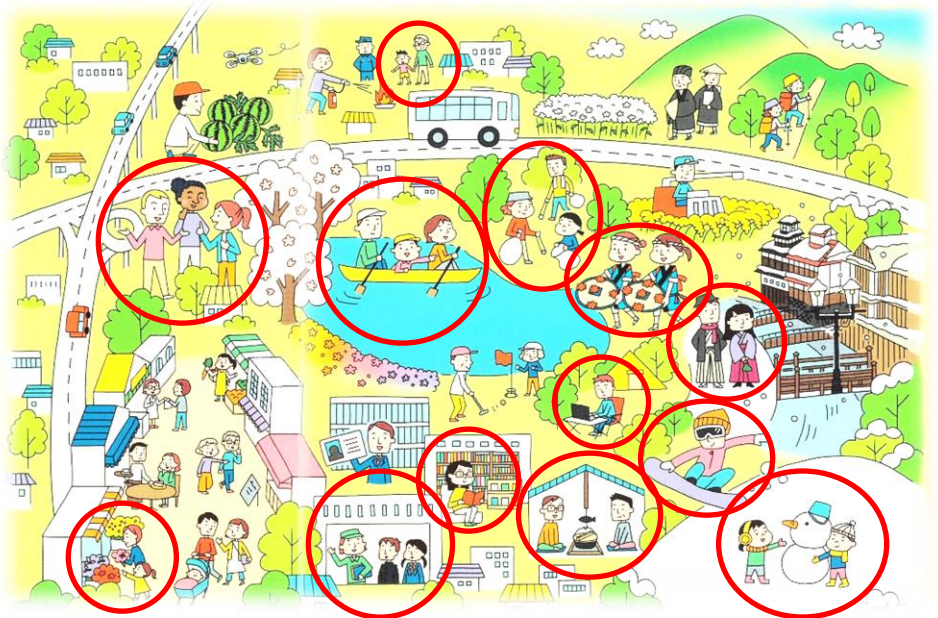
OECDでは「読解力」「数学的リテラシー」「科学的リテラシー」から進化した概念として「エージェンシー」を重要なキーワードとしています。「エージェンシー」とは「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力」と定義づけられています。私は、「**当事者意識**」をもつことと捉えています。

では、尾花沢市では、どんな子供に育ってほしいと願っているのでしょうか？

第7次尾花沢市総合振興計画では、基本目標として「このまちで ともに 生きる しあわせな時を刻むまち 尾花沢」の実現のために、政策の柱2 子育て・教育「ふるさと愛を育むまち」を掲げています。

右の図は「まちの将来像」をイメージしたものです。この図の中に、ふるさと愛を育むことにつながる子供の姿が描かれています。

先日、尾花沢市すこやかネット花笠推進協議会に出席しました。ある委員の方の発した「地域づくりは人づくり」のことばがとても印象に残りました。細野地区の地域おこしを例に「何もないではなく、(当事者意識を持って物事を見れば)宝物はいっぱいある」というお話をされていました。



子供や学校が地域の方々から一方的に支援してもらっただけでなく、子供自身が地域の方々へ**感謝する**とともに、地域のためにどんなことができるか、という**当事者意識を持つ**ことが、ふるさと愛を育むことにつながるのではないのでしょうか？

「自分だけでなく相手も幸せになる」、「周囲が幸せだからこそ自分も幸せになれる」。

そんな思いを持てるおばねっ子に育ってほしい、と切に願っています。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330